

林業の労働災害発生状況（令和3年）

兵庫労働局安全課

1 労働災害発生状況の推移

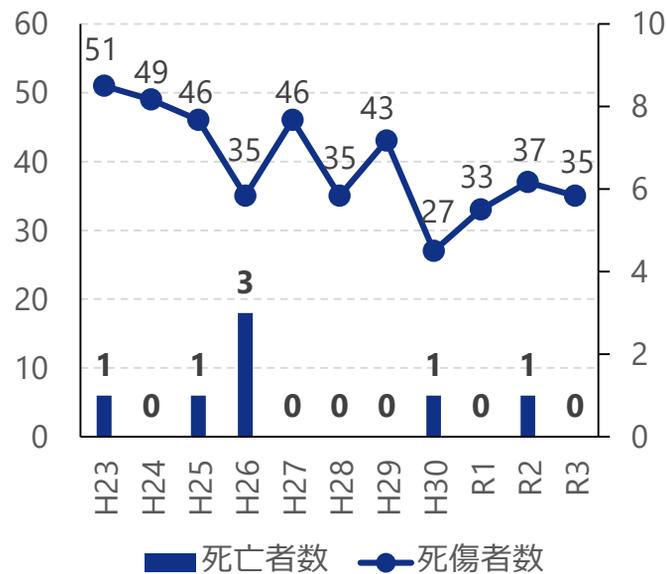
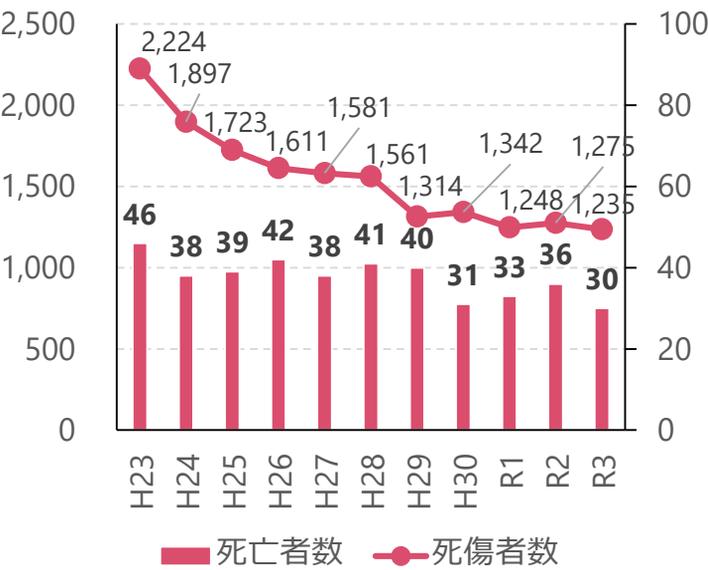
林業における労働災害は、長期的にみると減少傾向にあります。

令和3年の全国の休業4日以上の死傷者数（以下「死傷者数」）は1,235人で前年より40人減少しました。死亡者数は30人で前年より6人減少しました。

兵庫県内における林業の死傷者数は35人で、前年より2人減少しました。死亡者数は0人です。

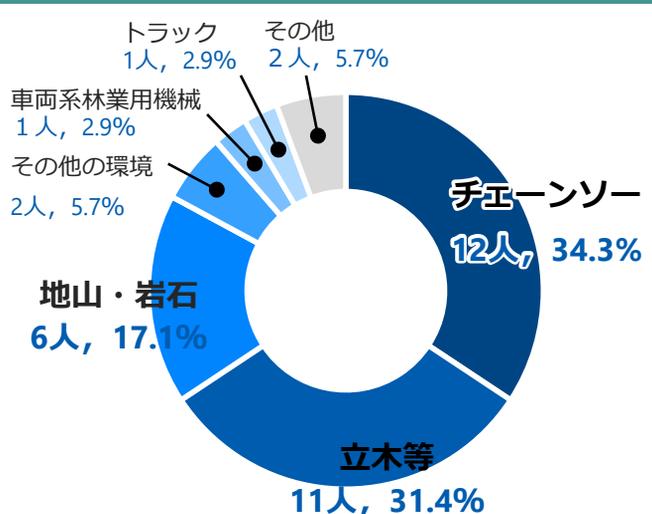
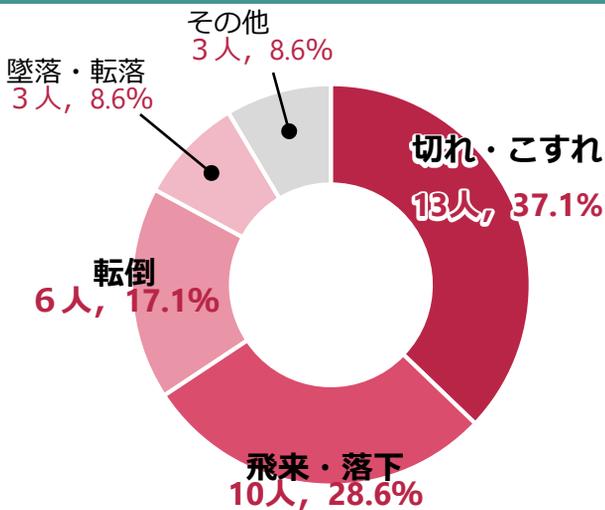
全国の労働災害発生状況

兵庫県の労働災害発生状況



2 労働災害発生状況 -事故の型別-

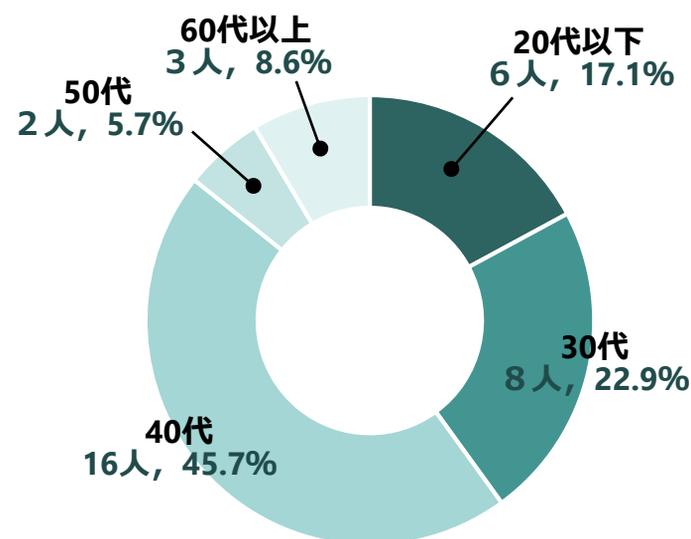
3 労働災害発生状況 -起因物別-



チェーンソーによる切創が最も多く占めます。次いで、枝や枯れ木の飛来、丸太材等の落下が多く、2つで65%以上を占めています。

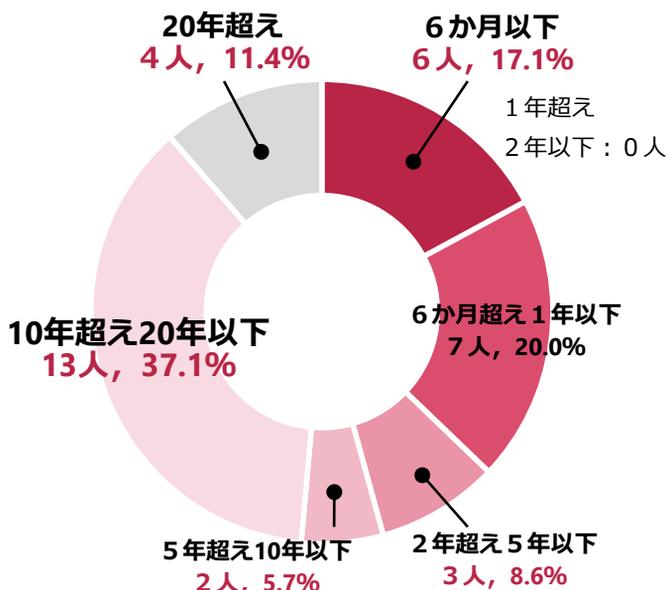
チェーンソー及び立木等による災害が6割以上占めています。立木等には、かかり木や丸太材も含まれます。

4 労働災害発生状況 -年齢別-



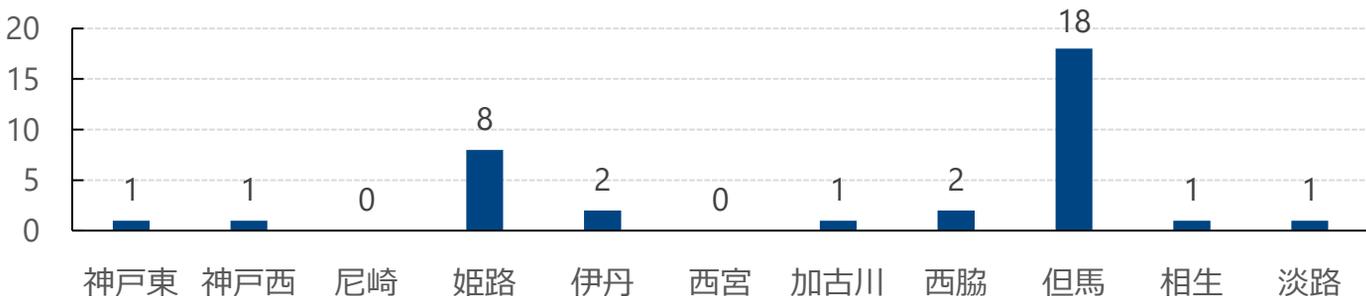
40代の方の被災が多く目立ちますが、20代、30代の若い方も多く被災している状況です。

5 労働災害発生状況 -経験年数別-



10年超えの方の被災が多く、経験年数と死傷者数は必ずしも反比例しないといえます。

6 労働災害発生状況 -署別-



7 労働災害発生状況の概要（一部抜粋）

	発生月	年齢	事故の型	災害発生状況の概要	休業見込期間
1	4月	40代	切れ・こすれ	玉切りを行っていたところ、チェーンソーがキックバックし、その勢いでチェーンソーを持っていた手を滑らせ、刃が手に接触した。	1月以上 3月未満
2	5月	60代	飛来・落下	斜面でのかかり木処理中に、元玉切りしたところ、元口が谷側に折れ、かかり木がもたれ木に沿って落下し被災者に直撃した。	1月以上 3月未満
3	9月	40代	飛来・落下	伐倒木に枯れ木がかかっていたため、枯れ木に切り口を入れたところ、枯れ木が落下し、頭部に当たった。	1月以上 3月未満
4	10月	40代	飛来・落下	間伐材のウインチ集材中、急斜面で引っ張っていた材の方向が変わり、倒伏していた枯れ木に当たり、枯れ木が跳ねて足に当たった。	2週以上 1月未満